

# 田原本町超小型EVを活用した カーシェアリングサービス事業

令和4年1月31日

一般社団法人 田原本まちづくり観光振興機構

# 田原本町の現況

## 奈良県田原本町

町域：南北6.1km、東西5.8km、面積21.09km<sup>2</sup>

総人口：3万1691人（男：1万5184人、女：1万6507人）

世帯数：1万1463戸 人口密度1502.7人/km<sup>2</sup>

高齢化率：29.10%（いずれも平成27年度「国勢調査」より）



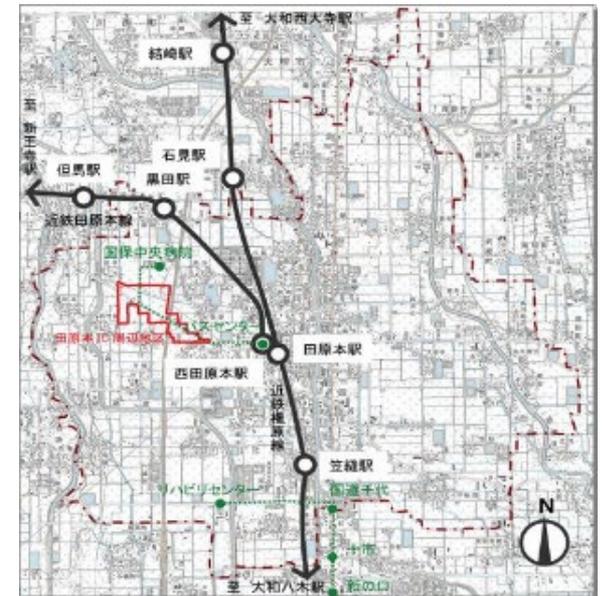
## 交通網の概況

### 〈町外との交通〉

- ・近鉄電車2路線4駅
  - ・田原本駅は毎時上下5本ずつ停車し、利便性は高い。
- 大阪・京都両都市まで1時間圏内のベッドタウン

### 〈町内交通〉

- ・奈良交通の路線バスは平成29年度に全廃
- ・国保中央病院・リハビリセンターへの送迎バス
- ・隣接する広陵町のコミュニティバス国保中央病院へ乗り入れ
- ・移動制約者を対象にタクシー運賃の補助制度「タワラモトンタクシー」を実施



# 田原本町の現況

## 町内の広い地域が「公共交通空白地域」

### 《課題》

- ・ 移動制約者の町内の足の確保  
→ 現状のタクシー利用助成では、配布枚数に限界
- ・ 業務・観光など、町外からの来訪客の足の確保  
→ タクシー利用助成では対応が難しい。
- ・ 町民の自動車の所有負担が大きい。



田原本町内の公共交通空白地域

## 田原本町内の車両所有状況（平成27年度末）

（奈良県統計年鑑などより）

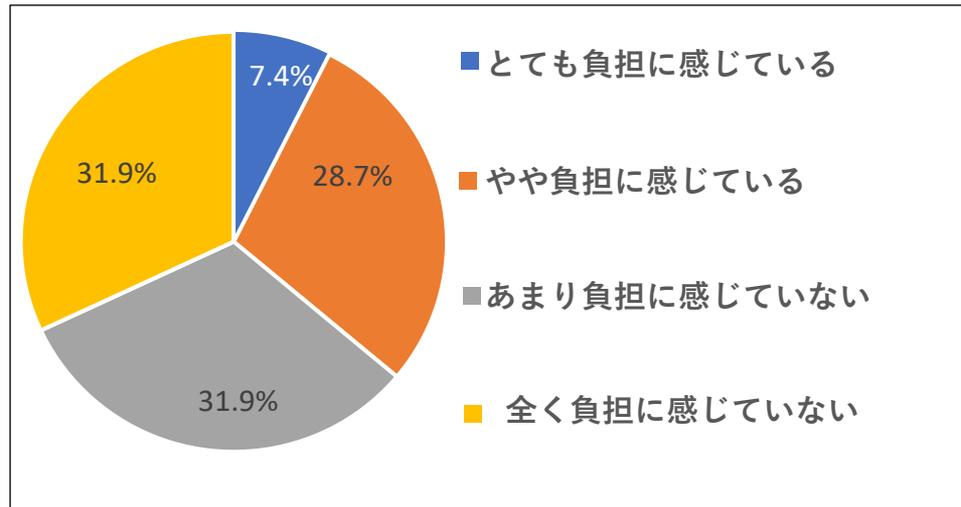
	乗用車				貨物自動車	世帯数	世帯当たり台数 (貨物自動車除く)
	普通車	小型車	軽自動車	小計			
所有台数	4,515	5,363	7,328	17,226	1,896	11463	1.5

# 田原本町の現況

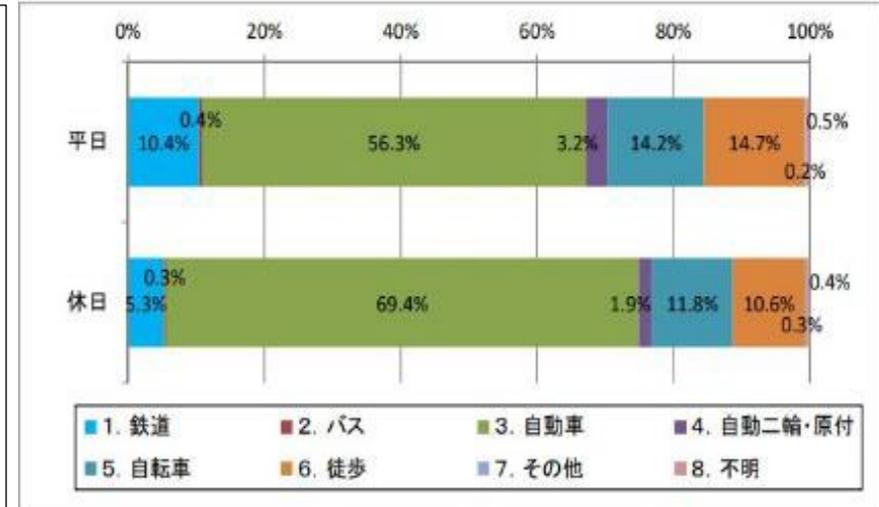


## 自家用車に依存した町内交通

- ・町内交通においては高い自動車分担率
  - ・毎日の家族の送迎に対する町民の負担意識
  - ・通勤通学時間帯に、駅周辺に送迎車両が集中し、混雑が発生
- 特に駅周辺の道路については、狭隘なため事故の危険性が大きい。



田原本町民の送迎に対する負担感  
(N=216、令和2年度住民アンケートより)



平成22年度 発生交通手段別分担率  
(平成22年度パーソントリップ調査結果より)

# 課題解決における超小型モビリティの活用可能性

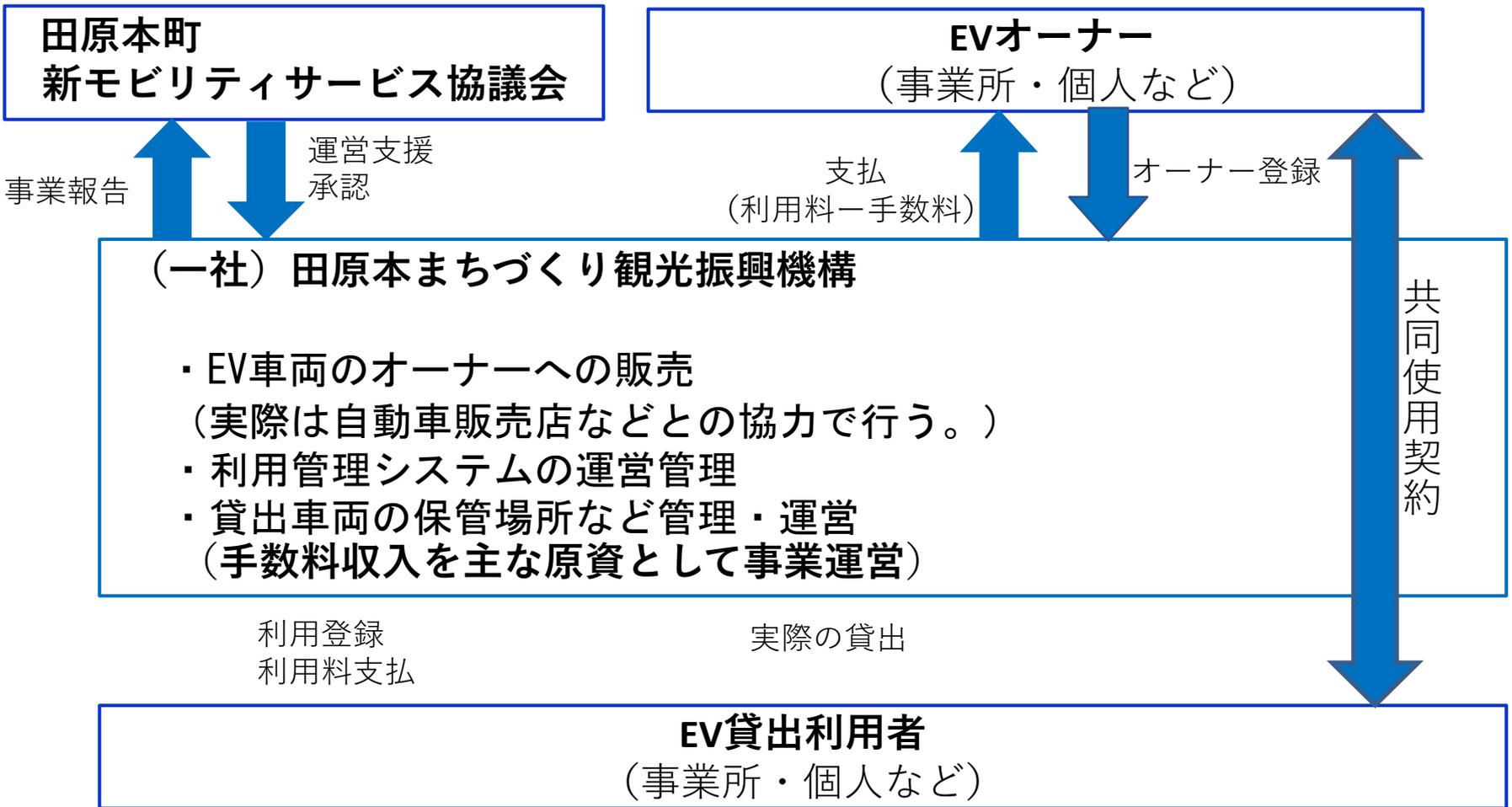
## 《課題》

- ① 町外からの来訪者や高齢者の足の確保  
→ 町全域で、気軽に（高齢者でも安全に）使えるカーシェアリングサービスの提供
- ② 狭隘道路などでの事故リスクの低減  
→ 普通自動車と比較して、低速な超小型EVの活用が有効
- ③ 町民の車両保有コストの低減  
→ 普通乗用車と比較して、維持管理コストの安い、超小型EVの活用が有用
- ④ 送迎車両による駅周辺・駐車スペースの混雑解消  
→ 超小型EVであれば、駐車に必要なスペースは半分
- ⑤ 世界的なCO<sub>2</sub>排出量削減の動き（SDGs目標達成との関係）  
→ 超小型EVであれば、走行中のCO<sub>2</sub>排出量はゼロ



超小型EV車両の一例  
（トヨタ車体制COMS）

# 田原本町カーシェアリング(超小型EV)事業の概要



- ・オーナー制をとることにより、車両の調達費用をかけずにシェアリングの仕組みを構築できる（経常費については財政支援を前提としない、ビジネスモデル）。
- ・利用ごとに、オーナーと利用者間で「共同使用契約」を締結する。（機構は、契約や利用料支払のプラットフォームとしての役割を担う。）

# カーシェアリングサービス利用のイメージ

